

レジメン名	催吐リスク
大腸がん mFOLFOX6	中等度

適応	大腸がん術後補助化学療法 および 切除不能な進行・再発の 結腸・直腸がん				
投与期間	2週間を1コースとして 【術後補助化学療法:術後6ヶ月】 【切除不能な進行・再発:不応になるまで継続】				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラニセトンバッグ 3mg(1mgでも可) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	
②	オキサリプラチン (L-OHP) 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m ²	③と同時に点滴	2時間	
③	レボホリナート (I-LV) 5%ブドウ糖液250mL	200mg/m ²	②と同時に点滴	2時間	
④	5-FU (bolus) 5%ブドウ糖液50mL	400mg/m ²	全開で投与	5分程度	
⑤	5-FU(46h) 生食にて計115mL	2400mg/m ²	インフューザーポンプ	46時間	

投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
オキサリプラチン		↓														↓							
レボホリナート		↓														↓							
5-FU(bolus)		↓														↓							
5-FU(46h)		↓	→													↓	→						

Day1 or 15

①グラニセトン+デカドロン (30分)

②オキサリプラチン 2時間 ※同時投与

③レボホリナート 2時間

④5-FU (bolus) 全開

⑤5-FU (46h) インフューザーポンプで46時間

減量規定及び中止基準

- ・末梢神経障害強いときはL-OHPを中止する
- ・Grade4以上の有害事象、Grade3以上の血液毒性出現、mFOLFOX6 80%doseにdown